

平成29年度愛媛県保育協議会 研修会等アンケート集計結果

研修会等名	愛媛県子育て支援研修会
-------	-------------

集計数	244
回収率	91%

Q 1	性別	男	女	無回答			
		5	232	7			
		2%	95%	3%			
	年代	20代	30代	40代	50代	60代以上	無回答
		56	64	63	52	4	5
		23%	26%	26%	21%	2%	2%
	地域	東予	中予	南予	無回答		
		69	78	89	8		
		28%	32%	36%	3%		
	研修会を知った方法	メール・FAX	HP	口コミ	その他	無回答	
		107	3	3	76	55	
		44%	1%	1%	31%	23%	
Q 2	講義 I	満足	やや満足	やや不満	不満	無回答	
		147	88	5	1	3	
		60%	36%	2%	0%	1%	
	<p>・保護者支援が子どもの最善の利益につながる…まさにその通りだと感じた。親子の見えている姿だけでなく、背景にも目を向けて支援できたらと思う。</p> <p>・保育士の専門性を生かした保護者支援について学べた。</p> <p>・今、自分が1番気にしていることだった。</p> <p>・資料が多すぎてついていけなかった。内容は難しくもなく、なるほど…と思えたのが多く勉強になった。</p> <p>・支援について知れたり、どんな風に園で活動していけばいいかが知れた。</p> <p>・保育士として自分自身の役割が再確認できた。</p> <p>・興味深い内容が多かった。</p> <p>・保育指針の変更点のわかりやすい解説と、保護者支援の具体的な取り組みや事例を交えながら進めていったので参考になった。</p> <p>・聴き取りやすく、わかりやすかった。</p> <p>・保護者支援とは?ということを変えて考え、保護者を支援することが子ども自身の幸せになるという基本に立ち返り、今の自分にできることを再確認できる、素晴らしい内容だった。</p> <p>・保護者に接する際の保育者の意識や、園全体での取り組み方などを学ぶことができた。</p> <p>・子育て支援を難しく考えていたが、身近なものだと感じた。</p> <p>・最新の情報がわかったり気づきが多く、大変ためになった。</p> <p>・講義の内容が現場でのできごとと結びつきやすくてよかったと思う。</p> <p>・明日からの保育に活かせそうな内容だった。</p> <p>・今後も連絡ノートなど丁寧に書いていきたい。</p> <p>・保護者支援という言葉が特別なものとなってしまいがちだが、日常保育の中で保護者とのかわりがありもうすでに保護者支援になっており、安心していただくための保育士の専門性の活かし方を考えさせられた。</p> <p>・講師の熱意が感じられた。</p> <p>・保護者支援の基礎的なことを学べてよかった。具体例が大変わかりやすかった(センターや園での保護者へのかかわり)。ストレングスの視点からの保護者対応等すぐに実践していきたい。</p> <p>・子どもと保護者、両方の思いを理解し、支援することの大切さに気付いた。</p> <p>・発達障がい傾向にある子供に対する支援、保護者に対する支援について数多くのことを学た。</p> <p>・子育て支援の本質や自分の考え方の違いなど、様々な発見ができた。</p> <p>・どうしたらいいだろうと難しく考えすぎず、まず保護者と子どもの気持ちを考えて寄り添いえる保育者でありたいと改めて思った。</p> <p>・パワーポイントが見やすく、上手だった。話もわかりやすかった。</p> <p>・保護者対応を詳しく教えてもらえ、“ストレンクス”など保護者の気持ちを考える時間ができた。もう少し言葉のかけ方、内容を見直していきたいと思う。</p> <p>・保護者に対する支援から、保護者に対する子育て支援へと指針がかわることがわかり、うなずける反面、難しいことでもあるなと感じている。話し合いの場を多く持てるようにしなければならない。</p>						

Q 2

- ・内容が難しく、ずっと集中という講義でしんどかった。
- ・早口だったので、もう少しゆっくりと話してほしかった。
- ・保育士なのに保護者支援をしないといけないんだという思いがどこかにあったのかもしれないと思いながら、保育士として子どもの最善の利益ということを優先して、支援をしていくことの大切さを学ぶことができよかった。
- ・写真があったり、先生の経験談を取り上げてあったりととてもわかりやすかった。
- ・新保育指針でどう改定されるのかがわかり、自分の価値観を押し付けずに対応することの大切さに気付いた。
- ・保護者の意見ばかり受け入れることが保護者支援ではないとわかった。
- ・自分の今抱えている問題、悩みの解決の糸口になった。
- ・母親に子どもは“宝”かけがえのない存在だということを知ってほしい。
- ・わかりやすい講義で、もっと聴きたいと思った。
- ・具体事例はわかりやすかったが、内容が濃くて2時間では理解が難しかった。
- ・気づかされたことが多々あり、勉強になった。最後の方で時間が足りなかったのが残念。・保護者が困っていることから支援を始められるよう、場を読む力、かかわりの必要性を見極める力を養い、身近な相談相手となれるように心がけていきたい。
- ・子育てをする保護者への支援が子どもを守ること、楽しい子育てにつながることを学んだ。
- ・いろいろな人間がいるのだから、ニーズも違うし対応も違う。相手の立場になって考え、自分の役割を考えていきたいと思う。
- ・時間が長い。途中休憩を入れてくれるともっと集中できると思う。話し方は聴きやすくよかった。
- ・日常保育と一体となった保護者支援を今後も大切に続けていきたい。
- ・新鮮さが少なかった。
- ・時間はきちんと守ってほしい。
- ・知らない間に自分の考えが保護者と対峙するときに念頭にあり、そういう目で見ていることが多かった。自己覚知しなければならないことがわかりよかった。
- ・自分の保育所にあるものを使って、地域支援をしていけたら…と思った。
- ・保護者支援に対する自分の考えが変わったように思う。
- ・保育士が保護者支援をどこまでできるのか、限界を感じる。
- ・専門的なことだけでなく、何気なくしていることが支援につながっているのだと気付けた。
- ・マイナス面ばかりではなく、保護者のできることを見つけていくということが大切であると改めて感じた。意識していきたい。
- ・保育士の役割をもっと自覚して、成長していきたい。

	満足	やや満足	やや不満	不満	無回答
発表・グループ討議	110	118	13	0	3
	45%	48%	5%	0%	1%

Q 3

- ・核家族化や地域のつながりの希薄化など、現地でもひしひしと感じている。今、保育士に求められている家庭への支援について今一度考えさせられた。
- ・他園の取り組みを知ることで、自園でできることは何かを見いだせた。
- ・保育士と地域と保護者と…負担が多く感じる。
- ・もっといろいろな園の話を聴いてみたいと思った。
- ・具体的な支援の例や他園がしている支援活動を写真で見たり、聴けたりできてよかった。
- ・各市町によって資金面や環境面が大きく違うため、自園で取り組めないことも多いので、参考にならなかったように思う。
- ・グループ討議では、各々の地域差や規模の違いもある中でそれぞれの園でできることの幅が広がるいい機会となった。
- ・グループ討議ができたことはよかったが、発表に対してもう少し掘り下げて話をしてもらえるとよかったのではないだろうか。内容に対する評価がなかった。
- ・支援センターがあるところの発表だったので、支援センターがない園の取り組みを聴いてみたかった。
- ・今携わっている支援センターについての内容を深められてよかった。
- ・グループの人数を3人ではなく、もう少し多い人数にした方がより情報提供の内容が広がると思った。
- ・実践報告への質疑応答の時間がほしいと思った。園に持ち帰り勉強していきたいと思う。
- ・支援センター、保育園と分かれてのグループ討議を期待していた。
- ・自園に持ち帰り、取り入れられそうなものを話し合っていきたいと思う。
- ・どういう支援がいいか少し見えてきた。
- ・話に引き込まれなかった。
- ・グループ討議を時間をもう少しほしい。他園の話を聴いている途中で終了になってしまったので…。
- ・もう少しマイクに近づけて話してほしかった。聴こえにくかった。
- ・保育士の人数が少なく、すべてを実践することは難しいが、目で見てわかるように実践していきたいと思った。
- ・地域行事に参加することも支援につながることもわかった。

Q 3

- ・自分たちの保育園の近くでこのような支援活動をされていることがわかりよかった。まだまだ勉強不足だと感じた。
- ・園に今あるものを活用して取り組むことなどの考え方がわかり参考になった。
- ・いろいろな地域があり、その地域でできることがあり、できることをしていけばいいんだ、自分でもできることをやっていけばいいんだと思った。
- ・子育て支援サークル等をやっていないこともあり、形態や取り組みの様子など参考になった。
- ・参加型の研修で楽しかった。
- ・具体的に身近でできることがわかった。求職展示の例がわかりやすかった。
- ・発表のスピードが速く（スクリーンが変わる速度）わかりにくかった。
- ・今の市や地域には、地域の子育て家庭支援というシステムがほとんどないので、将来的に他市のようによければいいなと思う。
- ・ワーク学習が楽しかった。
- ・実例発表がすばらしかった。
- ・グループ討議で一緒になった園の取り組みがなかったため、話し合う意味がなかった。資料を用意しているのも自分だけだった。
- ・話し合うことで気付けることも多かった。
- ・各保育所の現状の違いなど聴けてよかった。が、支援とは？という疑問も出てきた。
- ・グループが作りにくかった。同じような取り組みが多かった。
- ・もっと具体的な事例や働き方が知りたかった。
- ・地域での子育て支援の重要性などを知ることができた。
- ・自園の周辺にある施設についてもしっかりと認知し、保護者にも伝え豊かな子育てに向かっていけるようにしたい。
- ・地域と協力しながらの子育てがいいと思った。
- ・3人くらいの簡単なグループ討議で話しやすかった。
- ・現在している活動が十分保護者支援につながっていることが再確認できてよかった。
- ・発表もよかったが、亀崎先生の助言がわかりやすく、共感するところが多かった。
- ・個々に合わせた親への支援、それは様々な視点（家庭背景）があり、それを見極める専門性があることを知った。
- ・十分な時間が設けられていて、じっくりと話しあえた。
- ・発表の内容はよかったが、同じ口調、リズムで原稿を読むといった発表だったので、内容が入りにくかった。
- ・話し合いに必要な資料の準備を知らされていない園があり、気の毒だった。
- ・グループ討議を進めるうえでの道筋がたてられていたため、初めての方ともスムーズに話すことができた。
- ・同じ保育士という立場だからか、討議が弾んだ。
- ・発表者の方が何か月もかけて取り組んでこられた発表が、サラッと流されてしまったような気がして少し残念に感じた。
- ・人数が多いので討議しやすいように初めから席を指定されていれば、もっとグループ作りがしやすいと思う。近隣の保育所で固まってしまった。

講義 II	満足	やや満足	やや不満	不満	無回答
	91	130	14	2	7
	37%	53%	6%	1%	3%

Q 4

- ・“SSW”のことは知っていても、具体的にどのような働きかけ、支援を行っているのかまで知らなかったのが勉強になった。
- ・まずは家庭!!家庭が安定したら安心して過ごせるのはわかったが、どう接していけばいいのか…。
- ・もう少し幼稚園、保育園のことが聴きたかった。
- ・幼児期の子どもとの関係が大事だということを改めて聴けたのでよかった。
- ・聴きやすい話し方で、内容も興味深かった。
- ・相手のチャンネルに合わせて話を聴くという言葉が印象的だった。“親はこうでないといけな”という価値観は自分（世間）が決めていることで、相手への気配りや背景を知ることについて自分を反省した。
- ・自分にはあまり馴染みのない職種だったが、重要さを知ることができた。
- ・不登校児の対応などを聴く中で、保育や親支援につながることを見つけることができた。
- ・事例がありわかりやすかった。
- ・保育士とは別の目線から、今を生きる子どもたちの問題を知ることができた。
- ・愛着関係の大切さを学び、子どもとのかかわり方、基本信頼関係の作り方などを頭に入れ、保育の中でも子どもたちとかわっていきたい。
- ・いろいろな子ども、親、家庭があり、その対応の難しさを知ることができた。
- ・講師の苦勞が見え隠れし、今できることを考えさせられた。
- ・子どもの課題は社会環境、大人社会が原因であるということをしかりと理解しておきたい。
- ・もっと様々な事例も聴いてみたかった。
- ・子どもとの信頼関係があって支援が成立することを感じた。
- ・問題を抱えている子どもとかわるときは、自分の価値観ではなく子どもの価値感にチャンネルを合わせるということを学んだ。
- ・保育者である前に自分自身も親として考え直すべきだと改めて思った。
- ・レジュメがあったが、どこを話しているのかわからなかった。

- ・相手のことをまず知ろうとすること、いつも心にとめておきたい。
- ・保育園とも子育て支援ともテーマが離れすぎている。
- ・認めて、褒めて、の大切さを改めて感じた。
- ・年長児の何名か、反抗的な園児がおり職員で悩んでいたのもので、今回の研修で子どもが反抗する気持ちや子どもの心を考えるヒントをもらうことができた。
- ・様々な環境に置かれている子どもたちがたくさんいることがわかり、それを支援する方々の大変さも聴いていてよくわかった。もう少しこの仕事を続けてみようと思う。
- ・わかりやすく事例も入れて話してもらえたのでイメージしながら聴けたので心に残りやすかった。また聴きたい。
- ・講師の身近な話を具体的に聴けてよかったが、少し聴き取りにくいところがあった。
- ・小・中学校に上がる前の幼児期の家庭や愛情がいかに将来に影響するかが事例を聴いてわかった。子育てと保育のつながりを活かしていきたい。
- ・基本に戻って、子どもたちの心にそって保育していきたいと思った。
- ・講師の先生の人柄が出ていて、親身になって話されていたのが印象的だった。
- ・心のあり方、持ち方の見直しができとてもよかった。
- ・保育士が日々保育で実践していることが間違っていないことを実感できた。
- ・ガンピーさんの舟遊びがわからなかった。
- ・児童養護施設で働いていたこともあるので事例は参考になったが、子どもの内容が少なく、残念だった。
- ・とてもわかりやすく学べた。明日からの保育につなげていきたい。やさしく子どもたちに接していきたい。
- ・幼児期に焦点を当てて講義をしてもらいたかった。
- ・“人はされたようにする、見られたようになる”…明るく笑顔でやさしくかかわっていきたい。
- ・ゆとりを持ってやさしく包まれる環境づくりをしていきたい。
- ・不登校学生の話、とても感動した。例①の生徒が泉先生に「ありがとう」と言った気持ちを考えてるとこみあげてくるものがあった。校長先生の対応、とても残念だった。社会が変わらなければ、何も変わらない気がする。
- ・貴重な話が聴けた。まとめは明日の保育にも活かせる内容で勉強になった。
- ・もう少しソーシャルワーカーがいろんな機関とどのようなかかわりが取れるのか知りたかった。
- ・保育士にもソーシャルワーカーのような支援が必要だと思った。
- ・ガンピーさんの舟遊びをじっくりと読み込み、保育にも取り込めて行けたらと感じた。
- ・信頼関係を作るには正論ではなく、相手の価値観やチャンネルを合わす横軸への関係作りが大切だと学んだ。絵本も読んで、ガンピーさんの思いを感じてみたいと思う。
- ・SCとSSWの違いがわかった。
- ・子どもは一人ひとり違うので、その子によって対応の仕方を見つけないといけない。それで歩み寄ってもらえた時の喜びはすごいんだなと思った。
- ・“困った子”は実際本人が困っていること、保育者の見方がその子を変えるということに気付けた。
- ・実践例を含め興味深い話だった。1つの事例のもっと深い話や子どもの変化、かかわりが知りたかった。
- ・“社会全体の課題である”というのが印象的だった。子どもたちみんなが日々楽しく過ごしていけるようにしたいと思った。
- ・見守りの大切さや色眼鏡で見ずにその子自身を認めてあげること、子どもは見られたように育つということ、改めて考えた。これからまた気を付けていきたい。
- ・講義のみでなく話し合いで自分に返したかった。
- ・たまたま幼稚園免許更新でスクールソーシャルワーカーについて詳しく触れる機会があったので話が伝わりやすかったが、中にはとっつきにくい人もいたのではないかなと思う。しかし最後の方は、保育と照らし合わせての話になったのでとてもよかった。
- ・保育の現場でのことよりも自分自身の子育ての中で実践しようと思える内容だった。子育ては親育て、しっかりと自分が育ち成長できるようにしたい。
- ・これからもっとSSWが必要とされるようになって感じた。
- ・事例は聴いていてよくわかったが、報告書にはまとめにくい。
- ・スクールソーシャルワーカーを知らなかった。子どもたちの健全な育ちのためにもっと増えてほしい。
- ・SSWは保育所では主に主任保育士がしている。主任はほかにもするべきことがたくさんありすぎて、先生のように“とことんつきあう”ようなことができていない。
- ・子どもと同じ目線になり、大人の都合や立場からではなくしっかりとかかわって子どもの心を開いていくことの大切さを改めて感じた。また小さい時に愛着関係が築けていれば、たとえドロップアウトしてもちゃんと修正して戻ってこれるという言葉が心強かった。
- ・内容が聞き取りにくいところがあり残念だった。
- ・“人間が起こした問題は人間が解決する”という言葉が印象的で共感できた。
- ・事例について話してもらえるのはありがたかったが、SSWとしてどのようなことに気を付けその対応をしているのか、どういう意図で支援プランを立て、つながり地図を作り、どう活かしたかがわからなかった。

	満足	やや満足	やや不満	不満	無回答
トーク&コンサート	217	13	0	1	13
	89%	5%	0%	0%	5%

Q 5

・明日から少し優しくなれるような…そんな癒しの時間だった。
 ・ご自身の経験の中での気づきなど、美しい歌声とともにじんと胸にしみ渡った。子どもの姿をありのまま受け止めて、気持ちを寄せてかかわる大切さも改めて感じた。
 ・もんちゃん最高！
 ・とても感動した。
 ・歌や話を聴いていると、大好きな子どもたちの顔が浮かんできた。
 ・自分自身の子どものかかわりを振り返り、反省することがたくさんあるが、怒ったりイライラするのは大事で大好きだから、という言葉が聴き救われた。
 ・涙が止まらなかった。歌声が心を表していたと思う。愛を伝えることの大切さ、そして自分も大切にすること、愛情の根っこを根差すことを心がけようと思う。
 ・たくさん素敵な歌が聴けてよかった。
 ・心に響く話、歌声に心動かされた。
 ・子育て中の自分にはグッとくる話、歌ばかりだった。
 ・MONさんが出会った先生のようになりたいと思った。
 ・優しい声で聴きやすく、心が和んだ。「命」についてしっかり伝えていきたいという思いがさらに強くなり、感動の時間を過ごせた。
 ・歌声に癒された。生きる命について、子どもについての話で、どんな環境でも子どもを支えること、尊い命を大事にすること、感謝の気持ちを持つことの大切さを感じた。
 ・「命」「伝えること」たくさん大切なことに改めて気付けた。
 ・一日一日を大切にしようと思った。
 ・今までの研修会ではなかったので、いろんな視点から自分自身を見直すいい時間になった。これからの保育の活力にしていきたいと思う。
 ・愛の持てる優しい子どもがたくさん増え、育てていかなければいけないと思う。いろいろな大切なことに気付かせてくれたコンサートだった。
 ・素敵な方に出会えてとてもよかった。
 ・歌声が好き。世界に引き込まれた。
 ・とても充実した時間を過ごすことができた。
 ・この方ならではの伝えたいことをたくさん感じる事ができた。
 ・幼少のころの辛いじめや、子どもを亡くした時の悲しい体験を経て、「だから今がある」といった強い思いが、トークや歌に感じられることができ、胸が熱くなった。子どもの特徴を認め、褒めることがどんなに大切かということ、そういった仕事に携わっているということを変更して感じさせてくれた。子どもの根っこを作っていきたい。
 ・いろいろな人生がある。会う人によって人生が変わる、左右される。力、勇気もらった。
 ・温かい気持ちになった。
 ・参加してよかった。
 ・会場が一体感に包まれ、MONさんの素敵な歌声に胸が熱くなった。
 ・保育士として、母として、心に響く素敵な曲だった。
 ・明日からも保育をがんばろうと思った。
 ・日々の根っこを作っていくことで、生きる力を育ててほしいという言葉がとても心に残った。MONさんの声で心を溶かしてくれたような気がする。自分の仕事に誇りを持って、これからも子どもたちとかかわっていききたいと思う。
 ・もっともっとMONさんの歌が聴きたかった。
 ・CD購入したいと思う。
 ・命の大切さ、愛する人を想う気持ちの根源を思い起させてもらった。
 ・自分の仕事、そして親に感謝の気持ちがいっぱいになった。MONさんのファンになった。
 ・トークだけでなく、歌詞もとてもよく、心に響いた。自身の体験と重なるところもあり、この人のような生き方をしたいと思った。今生きてこの仕事をし、家族と過ごせることに感謝したいと思う。
 ・今から優しく愛情を持って、一人ひとりのキセキを大切に育てていきたいと思う。保育士という素晴らしい仕事ができることを身にしみて感じ、これからはがんばろうと心から思った。こんな素晴らしいコンサートに参加させてもらい、感謝の気持ちでいっぱい。
 ・ADHDでいじめを受けてきたつらい過去等もあるのに、とても強さを持っていて、自分自身、子の保育士という仕事に誇りを持ってがんばろうと感じた。
 ・飾りのない言葉がすごく心に響いた。専門的な知識も大事だが、一人ひとりを見守って、根っこを育てることの大切さを改めて考えることができた。
 ・あわただしい日々の中、ゆっくりと聴き入ることができた。たくさん涙も出て、なんだかスッキリした。
 ・先生の出会った様子や子どもたち同士が繋がっていく様子がよくわかった。
 ・四国中央市でのコンサート以来、2度目だったが、何度聴いても心が温かくなる歌声だった。素敵な時間を過ごせた。
 ・保育士という仕事は素敵な仕事であると教えてもらった。
 ・勉強ばかりでなく、心の豊かさ、感性を磨くことが保育・支援をするうえで大切だと思った。
 ・すごく心に刺さる話ばかりだった。自園の職員や保護者にもぜひ聴いてもらいたい。
 ・声がとても落ち着けて、気持ちを込めて歌ってくれているのが伝わった。
 ・生きていること、生まれてくること、すべてが当たり前なことではないと改めて感じた。

Q 5

- ・プロはすごい！
- ・家族も友達も同僚も大切にしたいと思った。
- ・すごく、すごく、すごく…よかった。今回の研修の中で1番よかった！
- ・MONさんの話を聴いて、今の自分にできることが見えてきた。
- ・今、心の中でもやもやしていたことがスッキリした！本当によかった。

全体	満足	やや満足	やや不満	不満	無回答
	151	86	1	0	6
	62%	35%	0%	0%	2%

Q 6

- ・保育士として視野が広がった気がする。とても有意義な時間だった。
- ・身近なことから実践できる具体例を示してもらい、とても参考になった。
- ・新保育指針のことも教えてもらえ、よかった。
- ・自分の知らないことや、これからしていかないといけないことがたくさん聴けた。
- ・保育歴が浅いので、どういった視点で支援をしていくといいのかを学ぶことができた。
- ・勉強になることがたくさんあった。これからの保育につなげていきたい。
- ・再確認や方向性のヒントをもらえた。
- ・現場で活かせることや意識しなければいけないこと等、改めて気付かされることもあった。
- ・とても充実した研修だった。
- ・子育て支援について勉強になった。普段の保育の中にも、保護者支援になっているものがあったので、続けていきたい。
- ・自分自身の成長につながるとてもいい研修だった。
- ・自分が今できることを考える場となった。
- ・改めて見直すことや、自分自身を振り返る必要があることに気付いたりして学ぶことが多かった。
- ・最後にトーク&コンサートで締めくくり、今の自分を見つめなおすいい機会となった。
- ・リフレッシュができた。
- ・講義のみでなく、トーク&コンサートの癒しがすごくよかった。開始、終了時間もよかった。
- ・地域や子育て、保護者支援、どれも大切に何か欠けては保育士として役割を果たせていないと思った。
- ・開始時間をしっかり明言してほしい。1日目の講演Iが延びたが、昼休みがその分延びるのか、そのままなのかはっきりしてほしかった。
- ・子どもを育てていくこと、自分の思うようにいなくて悩んだりすることが多いが、根本にあるのは相手を知ろうとすることなんだなと感じた。どの話も聴きやすく、参考になり心が洗われた。
- ・この核家族の世の中、様々なことが昔と違ってきてやりにくいが、前向きにやっていたこと思った。
- ・まだまだ勉強不足なため、よくわからなかったり、理解できにくい部分もあった。
- ・それぞれの講義時間もよく、コンサートもあり、楽しく過ごせた。
- ・大変なこと、嫌なことがあっても大切な子どもの大事な根っこを大切に育てていっていることを思い、がんばれると思う。自分を見直し、保育士でいられることを誇りに思い、やっていたこと思う。
- ・トーク&コンサートが予定よりも短い時間になっていたのが残念だった。
- ・「子どもの最善の利益」を考えての周りの環境、保護者支援について、日々できることを今回学んだ中で取り入れていきたいと思う。
- ・空調が少し暑かった。会場のロビーも昼食をとるので、涼しくしてほしい。
- ・空調も冷えすぎず、とても過ごしやすかった。
- ・現在の子育て事情について理解を深めるとともに、私たち保育士はどうあるべきか考えるよい機会になった。
- ・実りの多い研修だった。
- ・自園に持ち帰って取り組めるものがあり、参考になった。
- ・愛をしっかりと注ぎ、保育していきたい。子育て支援、保護者支援を大切にしていきたい。
- ・講義だけでなく、歌やワークもありよかった。
- ・保育に活かせる研修だったので、とても満足した。
- ・テーマに沿って情報を知ることができた。
- ・普段の生活ではここまでじっくりと子育て支援について考えるゆとりもなかったが、じっくりと考え直すことができた。
- ・具体的でわかりやすく、今後がんばっていこうと思った。
- ・詰め込みすぎず、適度に考える時間がありよかった。
- ・子育て支援の大切さ、自分に何ができ、始めて行かなければいけないか考えるきっかけになった。ぜひ園に持ち帰り、活かしていきたい。
- ・保護者の対応の仕方や今後の目標ができた。
- ・2日目の講義は2つとも自分の経験を交えた内容でわかりやすかった。
- ・自分の視点とは違った保育の考え方や、子育て支援をするにあたって、子ども・親・地域それぞれの大切にしていかなければいけない支援の仕方等を学ぶことができた。
- ・聴くことが多かったので、話し合いなどがもっとほしかった。
- ・自分の知りたいことを勉強できた。
- ・終了時間が早まり、公共交通機関がうまく使用できた。
- ・2日連続は遠くから参加する人にとってはものすごく疲れる。乗り換えもあり、かなり早く会場に着くこともあるので、JRの時間も気にしてもらえると助かる。
- ・2時間通しはしんどくなる時もあるので、適時休憩が入るとよかった。グループ討議で具体的な方法を聴けたり、考えたりできてよかったと思う。
- ・前まで机が1つずつだったが、今回は2つずつだったので座りやすかった。
- ・1日目が大変よかった。

Q7 今後、取り上げてほしいテーマや講演を聴いてみたい講師など

- ・発達障がいについて。具体的な支援方法や家庭への支援、専門機関へのつなげ方など。
- ・新保育指針について。解説をしてほしい。
- ・要保護（支援）家庭へのかかわり
- ・マジック、造形、描画遊びについて
- ・現代の子どもたちを取り巻く様々な環境について
- ・カウンセリングについて
- ・子育て支援について。実践例をもっと聴いてみたい。
- ・離乳食、食事について。栄養士向けはあるが、保育士向けの研修がない。
- ・業務の効率化、簡素化について
- ・保育者がソーシャルワーカーとして日頃から取り入れられる技術など
- ・保育士であり、子育てしながら働くお母さんの現状や課題について。こんな時にまた歌が聴けると嬉しい。
- ・もっと広い視野で保育の世界を広げられるような研修
- ・子ども悩み相談室、子育て悩み相談室、海外の保育所・子育て支援
- ・心理学について。子どもの気持ちとどう向き合うか
- ・保育所の安全対策について
- ・待機児童問題
- ・子どもの貧困の問題、施設との連携（児童相談所・養護施設等・小学校）
- ・手作りおもちゃ講座
- ・保育士の処遇改善、キャリアアップについて、現場で働く保育士がわかりやすく学ぶ研修があるといい。
- ・新見公立短大 八尋先生
- ・松山東雲女子大学・短期大学 児島先生、高橋先生、直井先生
- ・鯨岡峻先生 保育のためのエピソード記述について
- ・MONさんのコンサート&トーク もう一度聴きたい。
- ・新沢としひこさん
- ・ケロポンズ
- ・泉先生の講義はもっと聴いてみたいと思った。
- ・漫画家 高野優さん
- ・絵本作家 のぶみさん
- ・TSC認定コーチ/MCS認定マザーズティーチャー 本多彩恵先生 「マザーズコーチングについて」
- ・亀崎先生
- ・ゴルゴ松本さん 「命について」

※課題のみ抜粋

【講義Ⅰ】

- ・資料が多すぎてついていけなかった。内容は難しくもなく、なるほど…と思えたのが多く勉強になった。
- ・内容が難しく、ずっと集中という講義でしんどかった。
- ・早口だったので、もう少しゆっくりと話してほしかった。
- ・具体事例はわかりやすかったが、内容が濃くて2時間では理解が難しかった。
- ・時間が長い。途中休憩を入れてくれるともっと集中できると思う。
- ・新鮮さが少なかった。
- ・時間はきちんと守ってほしい。

【発表・グループ討議】

- ・もっといろいろな園の話を聴いてみたいと思った。
- ・各市町によって資金面や環境面が大きく違うため、自園で取り組めないことも多いので、参考にならなかったように思う。
- ・グループ討議ができたことはよかったが、発表に対してもう少し掘り下げて話をしてもらえるとよかったのではないだろうか。内容に対する評価がなかった。
- ・支援センターがあるところの発表だったので、支援センターがない園の取り組みを聴いてみたかった。
- ・グループの人数を3人ではなく、もう少し多い人数にした方がより情報提供の内容が広がると思った。
- ・実践報告への質疑応答の時間がほしいと思った。園に持ち帰り勉強していきたいと思う。
- ・支援センター、保育園と分かれてのグループ討議を期待していた。
- ・話に引き込まれなかった。
- ・グループ討議を時間をもう少しほしい。他園の話を聴いている途中で終了になってしまったので…。
- ・もう少しマイクに近づけて話してほしかった。聴こえにくかった。
- ・発表のスピードが速く（スクリーンが変わる速度）わかりにくかった。
- ・グループ討議で一緒になった園の取り組みがなかったため、話し合う意味がなかった。資料を用意しているのも自分だけだった。
- ・グループが作りにくかった。同じような取り組みが多かった。
- ・もっと具体的な事例や働き方が知りたかった。
- ・発表の内容はよかったが、同じ口調、リズムで原稿を読むといった発表だったので、内容が入りにくかった。
- ・話し合いに必要な資料の準備を知らされていない園があり、気の毒だった。
- ・発表者の方が何か月もかけて取り組んでこられた発表が、サラッと流されてしまったような気がして少し残念に感じた。
- ・人数が多いので討議しやすいように初めから席を指定されていれば、もっとグループ作りがしやすいと思う。近隣の保育所で固まってしまった。

【講義Ⅱ】

- ・もう少し幼稚園、保育園のことが聴きたかった。
- ・もっと様々な事例も聴いてみたかった。
- ・レジュメがあったが、どこを話しているのかわからなかった。
- ・保育園とも子育て支援ともテーマが離れすぎている。
- ・講師の身近な話を具体的に聴けてよかったが、少し聴き取りにくいところがあった。
- ・ガンピーさんの舟遊びがわからなかった。
- ・児童養護施設で働いていたこともあるので事例は参考になったが、子どもの内容が少なく、残念だった。
- ・幼児期に焦点を当てて講義をしてもらいたかった。
- ・もう少しソーシャルワーカーがいろんな機関とどのようななかかわりが取れるのか知りたかった。
- ・講義のみでなく話し合いで自分に返したかった。
- ・事例は聴いていてよくわかったが、報告書にはまとめにくい。
- ・内容が聞き取りにくいところがあり残念だった。
- ・事例について話してもらえるのはありがたかったが、SSWとしてどのようなことに気を付けその対応をしているのか、どういう意図で支援プランを立て、つながり地図を作り、どう活かしたかがわからなかった。

【全体】

- ・開始時間をしっかり明言してほしい。1日目の講演Ⅰが延びたが、昼休みがその分延びるのか、そのままなのかはっきりしてほしい。
- ・まだまだ勉強不足なため、よくわからなかったり、理解できにくい部分もあった。
- ・トーク&コンサートが予定よりも短い時間になっていたのが残念だった。
- ・空調が少し暑かった。会場のロビーも昼食をとるので、涼しくしてほしい。
- ・聴くことが多かったので、話し合いなどがもっとほしかった。
- ・2日連続は遠くから参加する人にとってはものすごく疲れる。乗り換えもあり、かなり早く会場に着くこともあるので、JRの時間も気にしてもらえると助かる。
- ・2時間通しはしんどくなる時もあるので、適時休憩が入るとよかった。